

みんなの議会

2022年8月
第90号



めざせ日本一

第2回定例会 2ページ

- 令和4年度一般会計補正予算
- ナイター議会開催

傍聴席の声・臨時会 3ページ

一般質問 4~8ページ



久保議員が「学校の部活動」について質問したほか、8名の議員が一般質問を行いました。

シリーズ検証 第9弾 8ページ

- 一般質問のその後を追う 質問者 大沼議員
「道路環境の整備と見やすい交通標識の設置を」

議会の動き 9ページ

- 常任委員会の活動



沼田町議会QRコード

令和4年 第2回 定例会 6月16～17日

町長の一般行政報告、教育長の教育行政報告の後、議員9名が昼間8件、ナイト14件の一般質問を行いました。

所管事務調査報告

総務民協建設常任委員会より大沼恒雄委員長が「まちの魅力発信」について報告しました(詳細9ページ)。

上程された主な議案

◎繰越明許費の報告

- ・ 民生費
- ・ 住民税非課税世帯に対する臨時特別交付金 1568万円



旭寿園でのワクチン接種

- ・ 教育費
- ・ スキー場ロッジ解体事業 479万円

◎沼田町国民健康保険税条例の一部改正

一般会計補正予算

◎総額5億7534万円としました。

新型コロナウイルス関連

- ・ 児童福祉費
- ・ 低所得の子育て世帯等に対する臨時特別給付金 18歳以下一人5万円
- ・ 住民税非課税世帯に対する臨時特別交付金 165万円
- ・ 一世帯10万円を1000万円
- ・ 感染症予防対策費
- ・ ワクチン接種委託料 636万円



スイーツを楽しむ旭寿園の皆さん

その他

- ・ 環境衛生維持対策費
- ・ 空き家事故防止対策代執行
- ・ 小学校東側の空き家の安全対策に係る費用 418万円

老人ホーム関係特別会計

- ・ 町民への商品券配布事業代替として、特別な食事の提供を行います。
- ・ 和風園 100万円増
- ・ 旭寿園 80万円増
- ・ なごみ 9万円増

請願・陳情

次の陳情が議決され、国に意見書が提出されます。

- ・ 「日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める」
- ・ 「賛成8人、反対1人」

賛成意見

核兵器保有国が主張する「核抑止力論」は、ロシアのウクライナ侵攻を進める中で、現実味を帯びている。一旦核兵器が使用されれば世界が破滅してしまうことから意見書提出に賛成する。

反対意見

核兵器保有国が参加しておらず、この条約は実効性に乏しい。むしろ核不拡散条約の方が有効なのでこの意見書提出には反対する。

- ・ 「森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める」

【全会一致】

表紙の写真

加工用トマト生産日本一を目指して。生産者の皆さんが頑張っています。

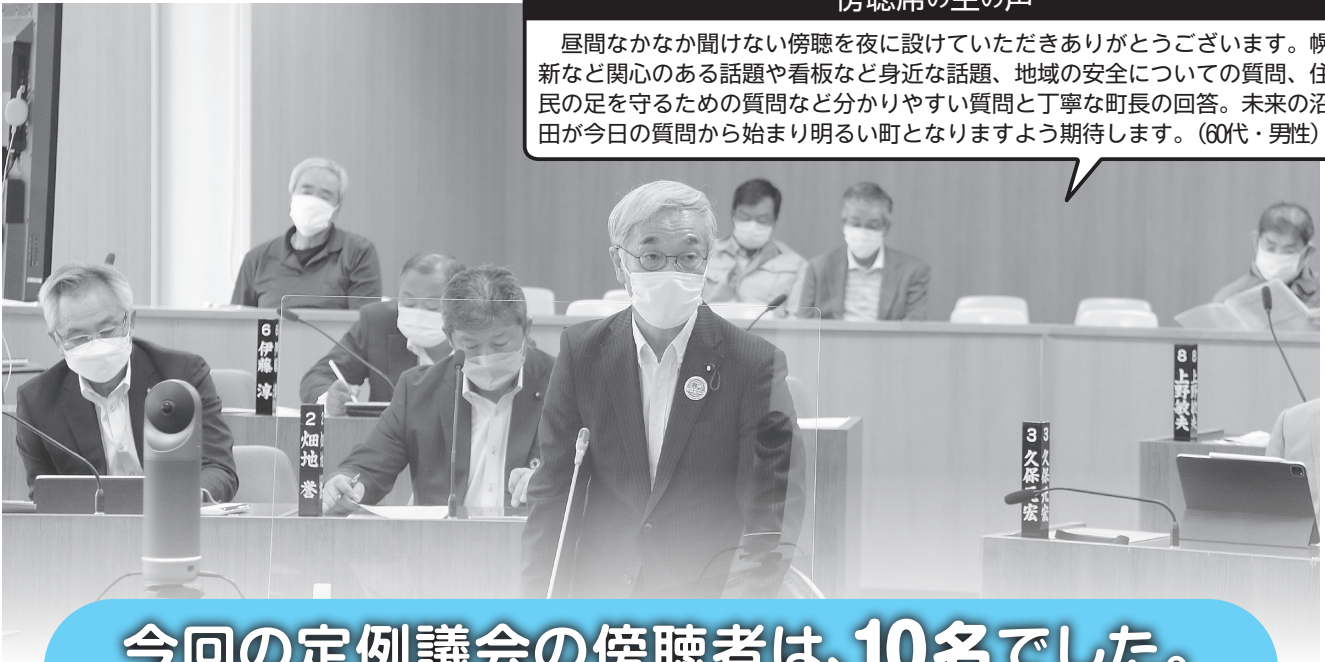


議会の予定

8月	10日	産業福祉常任委員会
	12日	総務民協建設常任委員会
	12日	議会改革特別委員会(全議員)
	23～25日	総務民協建設常任委員会道外視察(神奈川県)
	24～26日	北空知議長会先進地視察(長野県～議長)
	9月中旬予定	第3回定例会

傍聴席の生の声

昼間なかなか聞けない傍聴を夜に設けていただきありがとうございます。幌新など関心のある話題や看板など身近な話題、地域の安全についての質問、住民の足を守るための質問など分かりやすい質問と丁寧な町長の回答。未来の沼田が今日の質問から始まり明るい町となりますよう期待します。(60代・男性)



今回の定例議会の傍聴者は、10名でした。

みなさまの傍聴をお待ちしています。

第3回臨時会

令和4年6月6日



改装中の
スコーレビレッジ

- ◎除雪トラック(専用車)
購入事業に係る契約
契約金額 6405万円
- ・契約相手
UDトラックス 北海道株式会社旭川支店
- ◎町道更新線舗装補修工事の請負契約
契約金額 5379万円
- ・契約相手
北央道路工業株式会社
- ◎スコーレビレッジ3・4号棟屋根外壁改修工事の請負契約
契約金額 8690万円
- ・契約相手
広進工業株式会社

第4回臨時会

令和4年7月7日

- ◎令和4年度一般会計補正予算
高年齢者世帯等物価高騰対策生活支援給付金支援事業(物価高騰による影響が大きい低所得者の高齢者に対して給付金を支給)
564万円増
- ・北海道子育て世帯臨時特別給付金(国が実施する低所得の子育て世帯に対する特別給付金に道独自の給付金を上乗せて支給)
33万円増
- ・脳ドック検診費用助成事業費
60万円増
- ◎令和4年度水道事業会計補正予算
国道275号線(西町)配水管改修工事に係る工事請負費
1452万円増
(設計変更による追加工事)

第5回臨時会

令和4年7月21日

- ◎令和4年度一般会計補正予算
光ケーブル支障移転工事
367万円増
- ・水道事業会計繰出金
563万円増
- ◎令和4年度水道事業会計補正予算
道道峠下沼田線配水管移設補償工事
2300万円増
(うち1731万円は道からの補償金、残額は一般会計より)
- ◎あるくらす団地周辺外構整備工事の請負契約
契約金額 5977万円
- ・契約相手
有限会社臼井産業
(旧中学校跡地での高齢者住宅建設に向けた工事)

町長・教育長への一般質問

問 ポストコロナの外国人観光客対応は

答 多言語表記を含め検討を進めたい



菅 地 畑
議員

問

外国人観光客の旅行目的第1位が、自然観賞という調査がある。町内の自然資源を活用し、ポストコロナに増加が期待されるインバウンドに対応する準備はできているのか。

まず観光スポットの多言語表記が不足している。また、観光案内をする時に、タブレットなどを活用して説明するという場面が想定されていないように思う。QRコードの活用も重要で、旅先納税に使用する自治体も出ている。空知全体で見ると観光客は来ているので、地域連携で呼び込む考えはないのか。



沼田町公式サイト英語表記



ほたる館では外国人にスマホの翻訳アプリで対応していますが、今年度ポケット翻訳機の導入を予定しています。

館内の多言語表記を進めるよう指示しており、ホームページについても7月中旬に対応できる状況です。町

問 施設のユニバーサルデザイン化は

答 計画的に順次対応したい



敏 時 野
議員

問

沼田町は、施設に老朽化や住人に優しくない状況が見られる。駅、体育館、旭町コミセンのバリアフリー化をどう考えるか。



旭町高齢者住宅の雪解け水が溜まる床下の改善と、

体育館は、新町民体育館に向けて検討することから、

内の看板や観光パンフレットの多言語化は不十分なため、今後検討します。QRコードの活用は非常に有効だと思います。旅先納税についても、ほたる館やゴルフ場で導入の方向で準備中です。

ポストコロナのインバウンド誘致に向けて、外国人の地域おこし協力隊も検討しています。地域連携については、アウトドア系の人気が高い状況からどういう策が進められるか、小平、沼田、幌加内の連携協議会に投げかけていきます。

現施設のバリアフリー化は考えていません。

旭町コミセンのスロープは除雪に支障が出るので難しいが、手すりの設置は地域の要望を聞いて検討します。

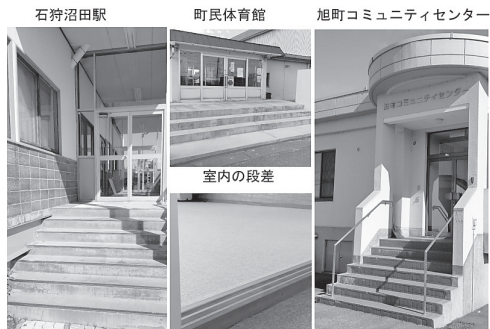
旭町高齢者住宅は、床が低い構造上水位がどうしても上がってしまいます。また、これまで公営住宅に菜園を整備することは行っていませんので、水抜き工事と併せてどこまでできるか検討します。

旭寿園前の駐車場については、簡易舗装を行います。施設改修は費用もかかりますので、年次計画的に対応します。

問 長野議員のそのほかの質問

答 信号機の設置を急げ

答 継続して要望していく



バリアフリー化されていない施設

問 農業政策見直しと資材高騰対策は
答 関係機関と連携し要請行動を行う



伊藤 淳
議員

問 国は昨年末に水田活用の直接支払い交付金見直しの方針を決め、5年間、水張りをしない水田には交付金を支払わないとした。更にウクライナ侵攻により農業資材・燃料・農機具などの価格高騰や、コメによるコメ価格の低迷は、農業者にとってトリプルパンチとなっている。

まず、水田活用直接支払い交付金の見直しに対する町と農業委員会の考えを聞きたい。

次に、肥料など農業資材への支援の考えはあるのか。

懸念されます。関係機関による道の連絡会議が設置され、課題、対応策の検討が行われています。今後、国の方向、オール北海道の対応などを注視し、本町独自の要望をまとめ対応します。

2点目に、国の支援や対策事業、道の化学肥料支援金対策事業案などJAを始め関係機関と情報を共有し、対応します。

今回の見直しは中山間多面的交付金、基盤整備、資産価値の低下など多方面への影響が



中山間多面的交付金、基盤整備、資産価値の低下など多方面への影響が



水稲に復田するか頭を悩ます農家

農業委員会会長

水田を畑に地目変更した場合には地価は低下します。今後の農地流動化あるいは後継者がいないなど離農に繋がる悪循環を危惧しています。

問 臨時交付金は生活支援に手厚く
答 商品券を優先すべき対策と考える



篠原 暁
議員

問 第2次オイルショック以来の物価上昇により国民生活が脅かされ、多くの事業者が負担増に喘いでる。

国は、「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」として臨時交付金を追加配分した。それを受け、町の補正予算には、一人当たり1万円の商品券配布事業や低所得者への対策が組まれた。

商品券は買物に行かなければ効果がなく高齢者が利用しやすい方法の工夫は

ます。今後の要請活動で国に対して一度ストップをかけ、作物の生産体制の在り方を再構築しながら活動していきたいと思います。

できないか。併せて、水道料金の減免を行えば、家庭を支援する効果が大きく、飲食や理美容などの業者の支援になる。水道料金減免に臨時交付金は使えないのか、町長に聞きたい。

次に、燃料や原材料費高騰による給食センターの運営も心配される中、給食費減免も直接子育て世帯の生活を支援できる。教育長に聞きたい。

がりしている状況で、各世帯・各町民の身近な消費活動をサポートできる商品券と考えました。

また、基本的に水道料金の減免に臨時交付金は使えませんが、現在の状況はまだ続くと予測しており、対策については全町民が今困っている視点を考え、商品券が全町民への優先すべき対策と思っています。

なお、高齢者の方にも使いやすい手法の導入については検討いたします。

教育長

北空知給食組合では、現在の繰越金や学校給食基金の範囲の中で、吸収できる見通しであり、今年度は値上げしないとの報告を受けています。

商品券等の配布により、間接的に学校給食費を支払っている保護者の負担の軽減にもつながると思います。



優先すべきは、約一万品目が値上

篠原議員のそのほかの質問

問 JR留萌本線存続に向けて

答 JRや国に粘り強く交渉する



問 今後の部活動のあり方は

答 まずは5町の教育委員会で対応したい



久保 元 宏
議員

備はどうするのか。

また、町外の学校と共同で部活を形成するとバス移動が必要だが、その準備は最後に、北空知広域連携を活かすため一部事務組合の発想も親和性があると思うが、定住自立圏形成協定で機能追加できないか。

教育長

問 沼田町は小規模校の欠点を小中一貫教育で補っているが、少子化により選択肢が狭まる部活動の多様性を確保し、教職員の負担軽減も目指さなければならぬ。

スポーツ庁の有識者会議で公立中学校の運動部活動の指導を地域のスポーツクラブなどに委託していく提言がなされ、国は来年の4月から進める準備をしているが、様々な障害も出てくる可能性もあるので質問する。

コミュニケーションスクールやコーディネーターはニーズの把握と対策に効果的なのか。

次に、指導者の確保と財源、移行スケジュールの準備はどうするのか。

一部事務組合という形ではなくて5町の教育委員会が対応を行い今後の部活動

のあり方を考えていきます。



送迎をするには新たな準備が必要となりますので、今後に向けて検討します。

今後の生徒数によっては5町だけでなく将来的に深川市を含めた北空知の枠組みの中で考えていきます。

問 生産者へのバックアップを

答 物価上昇に対する対策を考える



大沼 恒 雄
議員

問 原油価格と材料費の高騰やロシアとウクライナの情勢が長期化している。更に円安とコロナ禍の影響で原油価格が高止まりとなる見込みだ。

農業生産者は、経費がかさむと利益減になり経営を圧迫する。肥料に関してホクレンは主要11品目で平均

78%の値上げをすると発表しているが、肝心なのは生産資材すべてが上がるが米価に転嫁できないことだ。これからの国の補助に期待は寄せるが、基幹産業の農業を根本的に守るという姿勢を町は示すべきだと思うがどうか。

次に、ウッドショックにより木材価格も上昇している。町の住宅リフォーム助成の拡充をどのように考えるか。

最後に、学校給食は今年度の値上げはしない方針だが、来年度以降はどのようなか聞きたい。



今後の指導体制は

が、来年度以降はどのようなか聞きたい。



肥料や資材の高騰に関しては、情勢の詳細が見えた段階で、町として持続可能な農業を推進するための対策を考えていきます。

リフォーム事業は、木材も含めて物価上昇による影響があります。ほかの事業にも影響すると考えていますので、「住んで快適スマイル応援条例」が今年度で失効することから新年度に向けて検討していきます。

給食費は、今後値上げをしなければならぬ状況の可能性もあり、何らかの形で調整をしていきます。



来年使用分の肥料



ガイドの案内で森の観察

問 ほろしん自然学校は稼げる施設になるのか
答 活動が安定するまでは支援をしたい



高田 勲
議員

問 現在幌新地区で来春の開設に向けて準備が進められている自然学校は、交流人口を掘り起こし関係

人口を増やす上で有効な取組だと思う。

しかし、周辺施設とどう連動させ儲かる仕組みにするのか、第2回定例会まで説明がなかった。年間通じた事業やイベントのスケジュール、集客方法を聞きたい。

2点目に、年間どれだけの利用と収入を見込んでいるのか。併せて、施設の指定管理料と運営体制、人件費を含む年間経費はどれくらいか。

3点目に、指定管理にはどの段階で移行するのか。



まず、概要説明が遅れたことをお詫びします。

自然体験の提供は、児童対象のワンデーイベントやノマドワーカーが開催するイベント、ほたる館やキャンプ場宿泊者への自然ガイドを予定しています。

集客は、町内向けにはチ

ラシ配布、町外にはSNSとホームページの他、ほたる館宿泊時に体験プログラムを予約できる仕組みを調整したいと思います。

自然学校の支出は、人件費や一般管理費で2700万円程度見込んでいます。収入は、寄附、助成金、イベント参加料、物品販売、ムービングハウス宿泊料の他、ほたる飼育や社会教育

事業の受託で2600万円程度見込んでいます。収入が不足する部分は、活動継続によって収入が安定増加する見込みですが、数字に表れない波及効果もあるので、支援をしたいと考えます。

ほたる学習館の指定管理については、自然学校運営開始の令和5年4月を想定しています。

問 老朽化した案内看板の維持管理は

答 町設置のものは早急に対応する



之 範 野 鶴
議員

老朽化した看板は周辺環境に悪影響を与える。早急に更新するか、壊れたものは撤去するなどの管理が必要だ。

看板を更新する際には、デザイン性やストーリー性を統一する必要があると考える。そのためには役場の中に看板を管理する部署を設けて一括管理すべきではないか。



老朽化した看板や危険なもの、見

えないものについては早急に対応します。道路管理者が設置しているものは協議の上、調整させてもらいます。

町が設置している看板は、今後統一したデザインコードを取り入れ、対応していきたいと思えます。併せて多言語表記についても考えていきます。

今後の看板の更新、新設、デザインの統一については、産業創出課で対応させていただきます。



ここから何キロ?

問 公設塾の設置と習い事に補助を

教育長答 学習サポート明日萌の充実を図る



上野 敏夫
議員

問 子どもが少ない中でも教育費や習い事に負担を感じる家庭が多い。沼田町に公設塾を設置したり、習い事の半分を補助したりすることはできないか。幅広い塾が沼田にあれば、親の送迎負担も軽くなる。

習い事が数多くあるが、沼田の子ども達は諦めていて、少ない部活や少ない塾の環境を改善するべく、沼田町に住むいろいろな塾があり、満足する町になると思うので、習い事についても経費の半分に負担してはどうか。教育長に聞く。

教育長

まず学校教育の充実が重要で、一貫連携教育を進めており、9年間の教育課程

を着実に実施して学力向上に努めてきました。現在、教育総合アドバイザーや学習塾で講師の経験がある地域おこし協力隊員の指導で、学習サポート明日萌を小中学校で実施しています。この学習サポートは教育委員会が主体となっており公設の塾的なものと位置づけています。

学習サポート明日萌をどのようにしていくかは、保護者の考えや希望をアンケート調査し、拡充を図るのか、検討させていただきます。

習い事やスポーツ教室等に通っている子どもたちに対しまして経費半分を補助すべきではな



学習サポート明日萌

いかということですが、沼田町では全道大会以上に出場すればそのスポーツや文化活動に對しまして助成金を交付する制度があります。

普段の習い事の月謝等の負担については、これまで通りご家庭の負担でお願いしたいと思います。

シリーズ検証 第9弾

一般質問のその後を追う



大沼恒雄議員

2021年9月16日
第3回定例会

問 「道路環境の整備を」インターロッキングの歩道など除草が行き届かない場所がある。公安委員会指定の交通標識が設置されていても見落としやすい箇所がある、交通事故防止の観点から、視認しやすい表示の作成をしてはどうか。

答 町長 道路環境の整備は、関係者の理解を得られた上で検討したい。

★役場の現在の対応

建設課 道路の維持補修と草刈除草は民間事業者に業務委託をしています。歩道はインターロッキングを採用しているところが多く除草が行き届かない場所があり、地域の景観を損なわないような対策を検討しました。公安委員会が設置する交通標識を補完する看板は、必要性を協議した上で検討しました。令和4年度は、自治振興協議会において、環境美化運動への参加団体に除草活動への協力について意向が確認され、8団体に除草剤を配布しています。5月の通学路合同点検におきまして、JA整備工場横の交差点は警察・道路管理者と危険性について共有しました。公安委員会からは、新たな看板の設置は出来ないとのことから、道路管理者が道路に「止まれ」の塗装を施すことで要請しています。

総務民教建設常任委員会 所管事務調査報告

まちの魅力発信

地域魅力発信においては、情報インフラの整備が進み、発信ツールであるスマートフォンなどはいつでもどこにいても使用できる環境が整い、個人においても情報発信が盛んに行われている。インフルエンサーに加え、専門性を持たない人達によるSNS発信も、まちの魅力と地域情報発信には大きな影響を与えることになる。

情報発信を盛んにし、低迷しているふるさと納税の増加に結びつくことを期待する。

以下、次の意見を付し調査報告とします。

(1) ふるさと納税

ゼロカーボンシティ宣言をしている沼田町において、地球環境に大きく貢献している雪中米は、環境負荷軽減にも寄与することを納税者に強調して訴えるべきである。近隣でも返礼品に米が多い状況は似通っている。各自治体の特色を分析し差別化を図った戦略が必要である。

雪中米の魅力が伝わるように真夏に涼しさを感じる手法などで返礼する工夫を望む。

(2) 地域資源・自然環境の活用

景観スポットに乏しいと思われる沼田町においても、何気ない田んぼの風景もフォトコンテストなどの手法によっては重要な観光資源に発展し、リピーターを呼ぶ効果もある。

季節ごとの文化事業やノマド自然学校を基軸に、オールシーズンで楽しめることのできる観光資源を整備し、沼田町の地域資源・自然環境を活かした発信を望む。

(3) 町の情報発信の在り方

沼田町の動画発信はSNS発信を含め少ない状況ですが、今後動画を用いた情報発信はAR・VRにとどまらず、更に技術革新が進むことが予想される。本町を訪れなくても町中を疑似体験し、行って見たいと思わせる魅力あるコンテンツづくりを進める必要がある。

行政やプロだけでなく、町を訪れた観光客に加え、町民参加型で町の話作りにも参画出来る仕組みを望む。

(4) 事業別の魅力発信

画一的な情報発信だけでなく、様々な事業に関連した発信を行う必要がある。

リニューアルオープンする高穂スキー場においては、地域ブランディングを絡めた情報発信の始動の機会と捉え、高穂スキー場関係者及び利用者と共助して、魅力を創出し情報発信することを望む。

産業福祉常任委員会 所管事務調査報告

地元加工品の開発と販売の促進

6月30日から7月2日まで、福島県においてお米の生産からどぶろく販売までを手がける業者とそれを販売する道の駅、宮城県ではバックライス工場と巨大な野菜工場を視察しました。



どぶろくの彩季亭



仕込み中のどぶろく



アイリスオーヤマの精米工場



舞台ファームのレタス工場

自治功労者表彰

北海道町村議会議長会総会において、町村自治の振興発展に長年尽くされた功績で150余名が表彰されました。

沼田町議会からも上野敏夫議員と高田勲議員に表彰状が授与されました。



退任議員との交流会

7月13日、退任議員と現職議員がパークゴルフで交流を深めました。

前半戦に、現職議員チームからホールインワンが飛び出すなど健闘が見られました。後半に入ったところで突然の雷雨となり、前半のみの総合成績で、今回も退任議員チームが優勝しました。



好プレー続出の退任議員

みんなの広場

魅力ある 学園づくり



沼田学園沼田小学校 校長
中川 浩之

新型コロナウイルス感染症拡大等の想定を超える未踏の時代、教育を取り巻く環境も複雑かつ多様化しています。そのような中、4年前まで沼田中学校の教頭として沼田学園開園に向けて汗を流していた沼田の地に再び校長として戻ってきました。地域の方、保護者の方に温かく迎えていただき感謝申し上げます。中学校勤務時から見ていたものや感じていたものをベースに小学校の校長として子どもたちのために力を発揮していきたいと思えます。

沼田学園は、5年目を迎えました。学校は、よく地域の核と言われます。地域に学校がなくなると子育て世代も地域を離れてしまいます。沼田町ホームページでは、「子育て満足度日本一の町」とあり、幼小中の一貫連携した学園の魅力が記載されています。地域との強い結びつきを大切に、魅力ある学校づくりの一助となれるよう努力する所存です。

最後に、『沼田っ子でよかった』と言ってもらえる教育を推進していきます。皆様には、御理解と御協力をお願いするとともに、何かあれば遠慮なく思いを声にして学園に伝えてください。よろしく願いいたします。



町からプレゼントされた雪で遊ぶ子ども達

あとがき

先ごろ実施された参議院議員選挙における沼田町の投票率は約70%でした。全国的に50%台が多い中においては大変すばらしいことです。

選挙権が18歳まで引き下げられたものの、依然若者の投票率の低さが目立ちます。自分の1票が社会を変えることにつながる実感を持っていないとすれば、それは政治の責任でもあります。

一方、沼田町の投票率の高さに行政の努力や、私たち議員の議会活動も貢献しているのだとすれば、大変うれしいことです。一方で責任の重さには、改めて身の引き締まる思いがします。

広報特別委員

長野時敏 篠原 暁
上野敏夫 畑地 誉
伊藤 淳